

〔様式 1〕

## 事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

記入年月日	平成15年3月12日			
平成15年度	事業コード	12310	電話	042-769-9230
担当部課名	保健福祉部	地域医療	課	地域医療 係
事務事業名	「看護の心」啓発普及事業			

## 1 総合計画における位置づけ

政策名	第2章	生涯にわたる健康づくりを進めます	事業開始年度
基本施策名	第3節	市民医療の充実	63以前年度
施策名	第1施策	地域医療体制の充実	

## 2 実施根拠及び関連法令等

なし
----

## 3 事務の区分

自治事務
------

## 4 経費の区分

その他の経費
--------

## 5 事務事業の分類

市単独事業
-------

## 6 受益者負担

なし
----

## 7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか	(2)対象(誰、何)
「看護の心」を啓発普及する看護フェスティバル事業を支援し、看護業務に対する市民の理解を深める。	看護協会相模原支部、かながわ看護フェスティバル中央実行委員会
	対象数 2 団体
(3)平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容	
事業内容 1 「看護の心」啓発普及事業 ・市民まつり 血圧測定、健康相談、体脂肪測定等 ・一日看護師体験 市内協力医療機関にて、市内在学の中・高校生、市内在住の一般市民を対象に実施 2 かながわ看護フェスティバル事業 ・看護フェスティバル事業・看護フォーラム事業 体脂肪測定、相談コーナー等 ・一日看護師体験 県内協力医療機関にて、県内在学の中・高校生、県内在住の一般市民を対象に実施	
(4)個別計画の概要	概要
計画名	
計画年次	年度～ 年度

## 8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

15,16年度は目標値

	指標名	指標式	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
成果指標	参加者数	市民まつり会場、神奈川看護フェスティバル会場の参加者数及び市内医療機関での一日看護師体験参加者数	看護業務に対する理解を深めることを目的としているため、参加者数を成果指標とする。	1 2	1 3	1 4	1 5	1 6
				2,314	5,140	6,840		
活動指標	参加者数増減率(%)	本年度参加者数 / 前年度参加者数 × 100	参加者増減率から事業の必要性をみる	160	222	133	102	102

## 9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
	決算	決算	決算	予算	予算(見込み)
事業費	1,450	1,274	1,159	1,054	1,054
人員・時間数	0.3人/年	0.3人/年	0.3人/年	0.3人/年	0.3人/年
人件費	400	400	400	400	400
その他経費	0	0	0	0	0
合計	1,850	1,674	1,559	1,454	1,454
特定財源	0	0	0	0	0
対象数	1	2	2	2	2
対象の単位あたり経費	1,850.0	837.0	779.5	727.0	727.0

10 個別評価

(1)達成度 評価 B ▼	A: 達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B: 一部達成していない		・活動指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	C: 達成していない		・事業目標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
		説明	看護業務に対する市民の理解を得るための事業としては、おおむね達成できている。
(2)必要性 評価 A ▼	A: 適応している	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっている
	B: 一部適応していない		<input type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C: 適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
		説明	<input type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある 市民の集まる市民まつり会場での血圧測定や看護フェスティバル等において、看護業務に対する市民の理解を得るための事業を実施する必要性はありと考えている。
(3)有効性 評価 A ▼	A: 有効である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B: 一部有効でない		<input type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C: 有効ではない	説明	各種イベントを通じて、看護業務に対する理解を得るための事業を実施することは、有効であると考えている。
(4)効率性 評価 A ▼	A: 優れている	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B: 一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C: 改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている <input type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない
		説明	毎年市民まつり等開催時には、多数の市民の参加があり効果は十分であると考えている。
(5)公平性 評価 A ▼	A: 公平である	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B: 一部公平でない		<input type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C: 公平でない		<input type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
		説明	広く市民の集まる市民まつり会場等での事業に対する補助のため、公平性はありと考えている。
成果向上の余地		事業費削減のために取り得る手段と削減額	
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> ない	説明: かながわ看護フェスティバル事業については、横浜等相模原市外でイベントを実施する年があるため、広報等の機会を増やし市民の参加を促す必要がある。	手段	
		削減額	千円

11 総合評価

評価	A ▼	他自治体の類似事業との比較 かながわ看護フェスティバル事業は、神奈川県及び中核市以上の自治体(横浜市、川崎市、横須賀市、相模原市)が負担金を支出している。
今後の進め方		
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明
<input type="checkbox"/>	見直し	本市として、看護師等の人材については、医療機関・福祉施設等今後とも需要が拡大されると予想されることから、看護フェスティバル等を通じ看護業務に対し、市民の理解を深める事業は必要と考えている。
<input type="checkbox"/>	廃止	
<input type="checkbox"/>	完了・廃止済	

12 二次評価コメント

--